

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 支援 - 20

学校名・団体名	郡山市立白岩小学校
HPアドレス	<a href="http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0710040">http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0710040</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	地球温暖化～地球に優しいエネルギーを考える～
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>気象データの観測記録や、実験などの体験的な活動を通して地球温暖化の問題について学び、原子力に代わる環境に優しい新しいエネルギーについて理解を深めるとともに、二酸化炭素の排出量を抑えたこれからの生活の仕方について考えることができる。</p> <p>さらに、国の省エネルギー政策について学習することで、家庭の中心となって室温の適正化や照明の節約といった取組みを行っていかうとする実践的な態度を身に付ける。</p>	

## < 活動経過 >

【 9 月 】

### ○ 学習テーマの確認

夏休み中の1行日記に記録した気温・室温データを振り返るとともに、教室のエアコンの温度設定がなぜ28℃と決まっているのかを話し合った。家庭での室温にくらべて高いことが話題となった。

児童らはその理由として市の予算の問題や健康上の理由、電気の不足などを挙げていたが、本校で毎年取り組んでいる「福島議定書」の活動について、そのねらいが地球温暖化防止であったことを想起させ、環境学習のテーマを「地球温暖化」とすることを確認した。

### ○ 地球温暖化についての調べ学習

9月から10月にかけて図書室の本やインターネットを使って地球温暖化についての調べ学習を行った。

調べていく中で年々地球の気温が上昇していることや、それによって世界の各地で様々な問題が生じていること、二酸化炭素などの温室効果ガスが原因となっていることなど、地球温暖化の概要を理解することができた。



### ○ 福島地方気象台出前授業「地球温暖化と福島の気候変動」

福島地方気象台の調査官に講師として来ていただき、地球温暖化の仕組みや原因となる二酸化炭素のこと、自分たちが住む福島の気候の変化について実際の気象データをもとに詳しく講義していただいた。

児童は、地球温暖化によって南極や北極の氷が年々少なくなっており、低い土地では海に沈むところが増えてきていることを聞き、大変驚いていた。



また、自分たちが住む福島県についても降雪量が全体的に減ってきていることや桜の開花時期が早まっていること、ゲリラ豪雨とよばれる急に大雨が降る日が増えたことを教えていただいた。児童は自分の経験と重ね合わせながら地球温暖化を身近な問題としてとらえたようだった。

100年後には、地球温暖化が進んで、東京なかがしずんでしまうということがおこるかもしれません。もう暑い日、雨の日がこれから多くなるのがこわいです。わたしも気象のことを学んで、そのようなことを理解したいです。

【 10 月 】

### ○ 「地球温暖化防止のための福島議定書」 「復興ふくしまエコ大作戦！みんなでチャレンジ」

9月～10月、児童会の体育保健委員会が中心となって福島県が主催する地球温暖化防止のための福島議定書の事業に参加した。

この「福島議定書」は、各校が目標値を定め、電気と水道の使用量から二酸化炭素排出量を算出し、削減にむけた具体的な取り組みを行うもので、実践内容についても各校に任されている。児童は自分たちの心がけで地球温暖化を防ぐことができるとあって、自分たちは何ができるかを相談し、ポスターを作ったり、昼の放送で呼び掛けを行ったりして啓発活動に熱心に取り組んでいた。

#### 「福島議定書」の実践事項（目標：昨年比2%削減）

##### < 節 電 >

- ・使わない電気は消す。
- ・エアコン使用中は戸を開けっ放しにしない。
- ・エアコンの設定温度（28℃）を守る。

##### < 節 水 >

- ・歯みがきの時は、コップに水をくんでうがいをする。
- ・雑巾はバケツに水を汲んでバケツの中で洗う。

平成29年度 地球温暖化防止のための  
**福島議定書**

福島県知事 様  
図・学校名 郡山市立白岩小学校

わたしたちは、図・学校で使う電気や水道を大切に、二酸化炭素排出量を減らすことを目的に、以下のような取組を行います。

1 平成29年9月～10月の二酸化炭素の削減目標  
平成28年(基準年)より、 **2%** 削減します。

2 取組内容

行動目標	必須
<b>行動目標1 (節電)</b> ・使わない電気は消す。エアコン使用中は戸を開けっ放しにしない。設定温度を守る。 ・児童委員会が節電ポスターを作成し啓発する。児童委員会による呼びかけ。	必須
<b>行動目標2 (節水)</b> ・歯みがきの時は、コップに水をくんでうがいをする。 ・清掃時には、バケツに水を汲んで雑巾はバケツの中で洗う。 ・児童委員会が節水のポスターを作成し、啓発する	必須
<b>行動目標3 (学校における環境保全活動)</b> ・紙の両面印刷・裏面利用を徹底する ・封筒の再利用	任意
<b>行動目標4 (学校における環境教育)</b> ・野菜栽培や収穫を行い、自然の恵みを体感する。 ・宿泊学習時における自然観察 ・生涯学習センターの授業の視聴 ・放射能学習	任意
<b>行動目標5 (地域における環境保全活動)</b> ・廃品回収の実施(年2回)	任意

## ○「気象データ観測・記録」

4学年では、5月の「天気と気温」の学習以来、理科室に自動記録温度計を設置して天気と気温のデータを記録してきた。

10月からは新たに設置した百葉箱を使っての観測を行っている。記録したデータをもとに平均気温を求め、過去のデータと比較することで自分たちの郡山市の気候の変化を調べたいと意欲を見せている。

得られたデータが僅かなことや、データの正確性の問題もあって有意な差は見出せないが、自分たちの環境を見守っていかうとする姿勢は今後も大切にしたい。これかも継続的な活動となるように励まし支援していきたいと考えている。



## ○「地球にやさしいエネルギー ～自然エネルギーの魅力～」

(岩手県奥州市 工藤建設)

再生可能エネルギー施設を多く施工されている企業の担当者に来校いただき、最新のエネルギー事情について分かりやすく話していただいた。ソーラーパネルや風力発電など既知のものもあったが、冬に降った雪を活用して冷気を作り、夏の省エネルギーに生かす大規模な施設の映像は驚きの声が上がっていた。捨てる場所に困まっている雪が省エネルギーに役に立つことに大変感心した様子だった。

また、木材資源を無駄にせず繰り返し再生しながら利用するカーボンニュートラルのお話などは大変印象深かった様子で、多くの児童が感想の中でふれていた。

「省エネルギー」と「創エネルギー」、エネルギーを無駄にすることなく、少ないエネルギーで生活することを中心に考えていた児童であったが、新たな方法でエネルギーを作り出す工夫についても関心が高まった様子だった。



## ○「太陽の光を電気に変える」

4学年の理科の学習で光電池を学んでいるが、児童の自宅で太陽光発電を行っている家庭があったり、校地の隅にある放射線測定機にもパネルが付属していたりと広く一般で使われるようになってきた。価格的にも導入しやすいこともあり、身近な自然エネルギーとなっている。

児童から家庭で使っている電化製品を自分たちで作った電気で動かしてみたいとの声もあり、ミニ発電所づくりの実験を実施した。大変小規模ではあるが、発電のしぐみにふれられたので楽しみながら参加できたようだった。

## 【 11 月 】

### ○白岩フェスティバル「地球温暖化 ～わたしたちにできること～」

学習発表会「白岩フェスティバル」に於いて、環境学習の成果発表として劇「地球温暖化～わたしたちにできること～」を上演した。

劇を通して、保護者や地域の方々に自分たちが学んだ地球温暖化の実情や小さなことでも自分たちができることに取り組んでいくことが大切なことを子どもたちなりに伝えることができた。

観客の皆さんからも子ども達が学んだことの大切さや子ども達の実践態度にたくさんのお褒めの言葉をいただき、子ども達の姿に大人も考えさせられた発表となったようだった。

#### <学習をふり返って>

今回の環境学習を通して、児童たちは地球温暖化について学び、身近に起こっている環境の変化に気付くことができました。100年後の地球を思いやり、自分たちが今何をすべきなのかを真剣に考え、動き出そうとする児童の姿に教師や保護者もまた学ばされることも多かったように思います。

今回、貴重な機会を提供して下さった企業の皆様、ご協力いただきました方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

